



対馬市が年収344万円の対馬家だったら・・・

対馬市の平成26年度一般会計当初予算は、344億4,700万円ですが、このままでは金額が大きすぎてなかなか実感がわかないと思います。そこで予算を1万分の1にして、年収344万円の家庭に置きかえた場合の年間家計簿を作ってみました。

対馬市一般会計予算

歳入

項目		金額
自主財源	市税・使用料など	35億3,257万円
	基金からの繰入金	8億9,666万円
依存財源	地方交付税	147億9,468万円
	国県支出金など	85億5,629万円
	市債	66億6,680万円
一般会計の収入合計		344億4,700万円

対馬家の家計簿

収入

項目	金額		割合 (%)
	年間	1ヶ月	
給料	35.3万円	2.9万円	10.3
貯金の取り崩し	9.0万円	0.8万円	2.6
親からなどの援助	147.9万円	12.3万円	42.9
親からなどの援助	85.6万円	7.1万円	24.8
借金(ローン)	66.7万円	5.6万円	19.4
一般家庭の収入合計	344.5万円	28.7万円	100.0

歳出(性質別)

項目		金額
義務的経費	人件費	48億9,224万円
	扶助費	38億3,421万円
	公債費	58億6,659万円
投資的経費(普通建設事業費)		72億5,366万円
その他の経費	物件費	50億1,788万円
	繰出金	17億4,497万円
	補助費等・貸付金など	56億6,825万円
	積立金	1億6,920万円
一般会計の支出合計		344億4,700万円

支出

項目	金額		割合 (%)
	年間	1ヶ月	
食費	48.9万円	4.1万円	14.2
医療費	38.3万円	3.2万円	11.1
借金(ローン)の返済	58.7万円	4.9万円	17.0
家の増改築・修繕費 電化製品の買い替え	72.5万円	6.0万円	21.1
光熱水費・電話代	50.2万円	4.2万円	14.6
子どもへの仕送り	17.5万円	1.5万円	5.1
地区会費・趣味活動の会費	56.7万円	4.7万円	16.4
貯金	1.7万円	0.1万円	0.5
一般家庭の支出合計	344.5万円	28.7万円	100.0

対馬家(市)の支出の状況を見ても、食費(人件費)・医療費(扶助費)・借金の返済(公債費)などに多くのお金がかかっています。これらの経費は、生活(行財政運営)のためには必ず支払わなければならないもの(義務的経費)です。今年度の対馬市一般会計予算では、この義務的経費の割合が支出全体の42.3%を占めています。その他にも、家や電化製品などの老朽化による修理や買い換え(投資的経費)も必要ですし、子どもへの仕送り(繰出金)・地区会費・趣味活動の会費(補助費等・貸付金)などの支出もあります。また、将来のための貯金(積立金)も必要です。

一方、収入の状況を見ても、給料(市税や使用料)・貯金の取り崩し(基金からの繰入金)など、家庭内で得られる収入(自主財源)は、生活(行財政運営)に必要な経費全体の12.9%だけしかありません。そのため、親からの援助(地方交付税や国県支出金)や借金(市債)などの依存財源に頼ることになります。消費税率アップや合併算定替の終了による地方交付税の減額と、ますます厳しい状況になることが予想されますが、買い替えを延ばせるものは先延ばししたり、節電・節水に努めたり、家の増改築等を必要最低限のものにするなど、工夫してやりくりしていきます。

